

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス フレッシュワンアップクラブ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 24日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数)
			60
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)
			8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種(元教員・保育士・水中運動指導員)や資格(マルチジョイントコーチングインストラクター)を持った職員が在籍し、こどもの発達特性等に応じた専門性のある支援が行えている。	教室内を視覚的に示し、こどもが分かりやすく活動に取り組めるよう構造化している。 個別から集団対応の活動を通し、自立性、協調性、社会性を身につける療育プログラム(運動(陸上、水中)・日課・学習)を実施している。	職員の知識、技術向上のための研修を継続していき、更なるスキルアップを目指していく。
2	季節ごとのイベントや遠足の実施。また親子や家族で参加できる遠足やイベントが充実している。 長期休暇にはスイミングスクール生との交流もおこなっている。	野外活動(遠足)を通して公共の場でのルールやマナーを学び、社会性を育む。	毎年、実施していくことで、こどもが自分で考えて行動できるよう社会適応力を向上させ自立に繋げていく。 保護者同士で情報交換できる場を設けられるよう検討していきたい。
3	こどもが安心をもって楽しんで通所してくれている。 支援に満足していただいている。	こどもが安心・楽しく療育活動に参加できるよう、支援内容を充実させている。また長期休暇においても野外活動を取り入れ楽しく充実して過ごせるようにしている。また、保護者から信頼してもらえるよう、活動の様子や連絡事項等を伝え、問題時には素早く対応できるようにしている。	引き続きこどもや保護者のニーズを把握し、質の良い療育が提供できるようにしていく。保護者からも信頼できる事業所運営を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の育成(支援の質のばらつき) 職員不足(一人当たりの業務負担)	職員の勤務時間のズレや日常業務で研修や勉強時間の確保が難しい。 人材確保と業務の効率化と分担の見直し、改善。	支援に必要な研修や勉強会を事業所内外で実施、参加していく。
2	情報発信が定着していない。	大部分の保護者様には、事業所で取り組んでいる事を年1回の通信で把握していただいているが、避難訓練や感染対策などの情報が届いていないところがあった。	引き続き通信とホームページやFacebook等で情報発信をしていく。
3			